

資料の収集や整理の仕方、まとめ方、発表の仕方などを十分にとり入れた授業を展開するなかで、思考し判断する場と時間を位置づけ、社会認識を深めたいものである。

◎ 第5学年社会についてのまとめ

- 三つの観点について、それぞれの正答率をみると「知識・理解」53%、「資料活用」56%、「社会的思考・判断」59%で、全体の正答率は56%である。
- 知識・理解については、特に記入完成法による出題形式による問題の正答率が低いので、学習をすすめるうえで基礎となる用語・地名などについては反復練習させるとともに、必要に応じて使用する習慣を身につけさせ、知識を定着させるべきである。
- 資料活用については、図表などの統計的資料のもつ特性に応じた読み取りに慣れさせ、資料の収集、分析、作成などの機会を設け、指導の効果を高めるようにしたいものである。
- 社会的思考・判断については、一つの事象・事柄だけでなく総合的に判断する習慣を身につけさせ、その原因や背景を探る学習訓練が必要である。資料を収集・整理し、これをまとめ、発表し、討議する過程で、自分の考え方を育て、正しい社会的判断ができるようにさせたい。